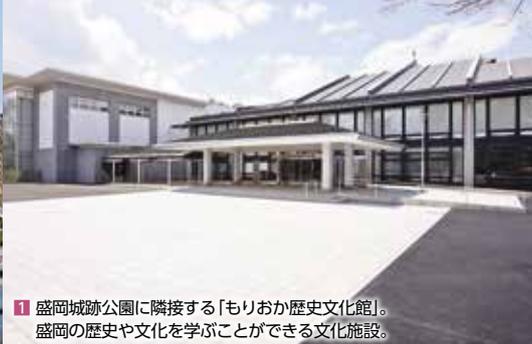




県都・盛岡市を南北に流れる北上川。盛岡駅と市内中心部をつなぐ開運橋から見る岩手山は人気スポット。



1 盛岡城跡公園に隣接する「もりおか歴史文化館」。盛岡の歴史や文化を学ぶことができる文化施設。



「盛岡城跡公園」では石垣に注目。桃山形式の石垣が残り、その美しさは東北三名城に名を連ねるほどです。



巨大な花崗岩を割って生える「石割桜」。推定樹齢360年以上といわれるエドヒガンサクラです。



寛延2年(1749)に創建された「櫻山神社」。境内の烏帽子岩は、市民の守り神として親しまれています。

材木町

北上川を使って運ばれた材木を扱う商家が多かった材木町。童話作家・宮沢賢治が生前、『注文の多い料理店』を発行した「光原社」もあり、通りに作品にちなんだオブジェが設置されています。

ちょっと足を伸ばして「啄木新婚の家」を訪ね、循環バスでんでんむしで「もりおか啄木・賢治青春館」を巡れば、ふたりの文学的素養を育んだ盛岡を感じられるでしょう。



中央通にある「啄木新婚の家」は、歌人・石川啄木と妻の節子が新婚時代、過ごした場所です。

啄木新婚の家

開 8:30 ~ 18:00
(冬期は9:00 ~ 16:00)
休 12月~3月の毎週火曜
料 無料
☎ 019-624-2193



毎年5月~11月の毎週土曜に開催される「よ市」。盛岡近郊の生産者が集まり、農作物や加工品が販売されます。



「光原社」は現在、ものづくりの心や技を大切にした工芸品や民芸品が並んでいます。中庭には「注文の多い料理店発行の地」の碑があります。

光原社
開 10:00 ~ 18:00 休 15日
(土日曜・祝日の場合は翌日)
☎ 019-622-2894



材木町の通りには、宮沢賢治にちなんだオブジェが並び、



盛岡のソウルフードといえば「福田パン」。本店では約50種類の具材がトッピングできます。

もりおか都心循環バス
「でんでんむし」

どこから乗っても1乗車100円(子ども50円)。盛岡駅を起点とした循環式(1週5.7km、所要時間約35分)なので、安心して利用することができます。お得な1日フリー乗車券(大人1枚300円)もあり。

南部藩の城下町・盛岡を散策するときには、歴史と暮らしを意識して歩くのがおすすめ。藩政時代の風情が残る町並み、名だたる文人たちを生んだ風土、歴史と暮らしから生まれた独特の食文化……学びのテーマはたくさん転がっています。

盛岡中心部 Map



太平洋の架け橋となった新渡戸稲造